

【中学校の部 講評】

二宮 陸生 審査委員（沖縄県造形教育連盟 顧問）

今回は、例年以上に多数の中学生の応募がありました。全ての作品が、描画への意欲にあふれ、中学生のイメージした「緑化推進」の姿が生き生きと表現されていました。

最優秀の上地笑子さんの作品は沖縄の森の中、クワズイモの葉陰から見えるガジュマルを伸び伸びと表現しています。緑の軽やかなタッチが空気遠近を生み、さわやかな空間になっているところが秀逸でした。

砂川うたさんは緑化推進を沖縄の動植物が憩う自然環境保護の観点でとらえ、動物たちと共に守られた一本の苗木が、大木へと成長する未来を繊細な水彩画で見事に表現しています。他の入賞した作品も、独自の視点で構図や色彩配置の構想が練られ、自分なりに主題を探求する思いにあふれていました。全体的には想像したことを基にした表現が多くをしめていました。

今後は、身近な自然とのふれあい、植樹体験、野外活動など緑化につながる実体験に基づいた表現が増えてくることを期待したいと思います。

中学生がさらに緑化推進や自然環境保護に目を向け、多様な表現を通して緑を大切にする沖縄のイメージをふくらませていくことを願っています。